

岡山県 地域連携・多職種協働周術期管理モデル普及事業公開セミナー  
「周術期管理と入院支援」

日 時：2022年2月4日（金）18：00～20：00

開催形式：Zoom

講演 1	「センターの全体像について」 九州大学病院医療連携センター センター長／教授（耳鼻咽喉科） 中川 尚志 先生
講演 2	「センター内各部門との連携について」 九州大学病院医療連携センター 副センター長／講師（肝臓・脾臓・ 門脈・肝臓移植外科） 伊藤 心二 先生
講演 3	「入院・周術期支援センターの立ち上げについて」 九州大学病院医療連携センター 副センター長／看護師長（入院・ 周術期支援担当） 淀川 千穂 先生
講演 4	「加算算定までの流れと実際について」 九州大学病院医療連携センター 副センター長／看護師長（病棟管理・ 相談支援担当） 須古井 和美 先生
講演 5	「歯科の位置付けについて」 九州大学病院医療連携センター 副センター長／教授（口腔総合診療 科） 和田 尚久 先生
講演 6	「食道癌手術症例における入院前周術期支援の意義」 九州大学病院医療連携センター 専任医師／助教 原武 直紀 先生

岡山県 地域連携・多職種協働周術期管理モデル普及事業公開セミナーを開催いたしました。テーマは「周術期管理と入院支援」でした。

始めに、九州大学病院医療連携センター長の中川尚志先生より「センターの全体像について」と題して、医療連携センター設立や概要、内規について述べられました。続いて講演2では、予約管理の流れ、地域医療連携機関との連携の実際、センター内の各部門の紹介等について述べられました。講演3では、周術期支援センター拡大と医療連携センターの再編までの背景、周術期支援センター移転・対象拡大に向けた活動、入院・周術期支援センター 業務フロー、退院支援について述べられました。続いて講義4では、加算算定までの流れ、入院支援加算の推移について述べられました。講義5では、周術期等口腔機能管理、周術期口腔機能管理取り組みの推移、周術期口腔ケアセンターのながれについて述べられました。最後に講義6として、九州大学病院での食道癌手術症例における入院前周術期支援と術後合併症との関連についての研究結果を紹介していただき、リハビリ介入を行う入院前周術期支援は、術後合併症の減少、予後の改善につながる可能性があるとして述べられました。72名の方にご視聴頂きました。

<参加者内訳>

